

予算決算委員会経済環境分科会記録

〔第2日目〕

1 日 時 令和6年3月13日（水曜日）

開 会	午前 9時58分
休 憩	午前11時28分
再 開	午前11時43分
休 憩	午後 0時07分
再 開	午後 1時06分
休 憩	午後 1時21分
再 開	午後 1時38分
休 憩	午後 1時48分
再 開	午後 1時50分
閉 会	午後 2時43分

2 場 所 第3委員会室

3 出席委員 9人

分科会長	久 保 大 憲
分科会副会長	柏 佳 枝
委 員	藤 田 克 樹
//	織 田 伸 一
//	豊 岡 達 郎
//	吉 田 修
//	舎 川 智 也
//	高 道 秋 彦
//	大 島 満

4 欠席委員 0人

5 説明のため出席した者

【環境部】

部長	舟崎 文彦
部次長	片山 建
環境センター所長	石黒 健一
参事（廃棄物対策担当）	耕作 優
参事（環境政策課長）	沼崎 益大
参事（環境センター次長・ごみ減量推進担当）	長崎 秀樹
環境保全課長	東 覚
環境センター管理課長	小林 将司
環境センター業務課長	藤根 昇
環境政策課主幹（調整担当）	田口 衛

【商工労働部】

部長	山本 貴俊
部次長	長 康博
部次長（コンベンション・薬業物産・観光振興担当）	若松 潤
商工労政課長	柵 伸治
企業立地課長	卜蔵 雄治
コンベンション・薬業物産課長	大釜 嘉徳
観光政策課長	柏木 克仁
公営競技事務所長	山崎 正
職業訓練センター所長	松本 晃司
牛岳温泉スキー場所長	中澤 栄三
商工労政課主幹（調整担当）	桑名 純一

【農業委員会事務局】

事務局長	酒井 秀祐
事務局次長	梨木 孝人

【農林水産部】

部長	金山 靖
理事（農林水産部次長）	高柳 誠
部次長（技術担当）	前田 剛
農林事務所長	桐溪 修一
地方卸売市場長	堀田 英樹
参事（天湖森再整備担当）	谷崎 友紀
参事（農政企画課長）	三邊 泰弘
参事（農林事務所農地林務課長）	奥田 孝治
農業水産課長	谷井 隆彦
森林政策課長	中島 光輝
農村整備課長	金田 英靖
国営農地再編整備推進室長	笹木 明子
農林事務所農業振興課長	余川 洋成
地方卸売市場次長	水野 智
営農サポートセンター所長	増山 進平
農村整備課企業会計推進班長	山口 晋一郎
農政企画課主幹（調整担当）	大門 高史

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長	坂口 輝之
議事調査課主査	中村 千里
議事調査課主査	白山 江梨花

7 会議の概要

- 分科会長 ただいまから、予算決算委員会経済環境分科会を開きます。
これより、環境部所管分の議案の審査を行います。
議案第1号 令和6年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算、歳出第4款衛生費中、環境部所管分、第2条継続費、第4款衛生費中、環境部所管分、第3条債務負担行為中、環境部所管分を議題といたします。
これより、順次、当局の説明を求めます。
- 環境部長 〔挨拶〕
- 環境部次長 〔環境部所管分の概要について、議案説明資料により説明〕
- 環境政策課長 〔議案第1号中
チームとやまし推進事業について、
ZEH及び省エネ設備等導入補助事業（子育て支援）について、
ゼロカーボン推進事業（子育て支援）について、
市未利用地におけるオフサイトPPA事業に係る債務負担行為の設定について、
国際展開支援事業（JICA関係）について、
議案説明資料により説明〕
- 環境保全課長 〔議案第1号中
婦負斎場の再整備について、
富山市こどもふれあい入浴事業補助金について、
カラス対策事業費について、
議案説明資料により説明〕
- 環境センター管理課長 〔議案第1号中
資源物ステーション運営事業について、
プラスチック資源一括回収事業について、
家庭ごみ有料化検討事業について、
地域循環型生ごみ堆肥化モデル事業について、

ダンボールコンポスト普及啓発事業について、
こども環境教育アドタイジング事業について、
環境教育推進事業について、
議案説明資料により説明]

環境センター業務課長 [議案第1号中
地域環境美化推進事業について、
塵芥収集車の購入に係る債務負担行為の設定につ
いて、
議案説明資料により説明]

環境センター管理課長 [議案第1号中
つばき園維持管理事業（設備改修）について、
議案説明資料により説明]

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑は議案説明資料に沿って行います。
議案説明資料2ページのチームとやまし推進事業に
ついて、質疑のある方はいらっしゃいますか。

藤田委員 チームとやましへの参加状況について教えていただ
けますか。

環境政策課長 昨年3月末現在で企業は1,648チーム、市民は
2万8,028名でございます。

藤田委員 たくさん参加しておられるんですね。
もう1点、(3)事業内容、ウの企業・団体向け脱
炭素化促進事業が拡充に至った背景や経緯について
教えていただけますか。

環境政策課長 今年度から着手した事業でございまして、200万
円の予算で企業や団体を対象にセミナーを開催しま
したところ、18社25名の方に参加いただきました。
参加者の声をお聞きする中で、やはり企業によって
規模や取り組む方法も異なっておりまして、もう少
しきめ細やかにこの事業を進めていきたいと考えま

した。そういったことから、個々の企業にアドバイザー的な人材を派遣し、その企業の特徴に合わせて普及・啓発を行うことができるように、予算を180万円ほど増額し、事業を拡充したところでございます。

藤田委員 いい取組だと思しますので、これからもぜひ推進して行ってください。

分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料3ページのZEH及び省エネ設備等導入補助事業（子育て支援）について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料4ページのゼロカーボン推進事業（子育て支援）について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料5ページの市未利用地におけるオフサイトPPA事業に係る債務負担行為の設定について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

織田委員 これは限度額が2億1,000万円で、想定 of 設備スペックとして1,500キロワットと記載がありますが、電気料金はどれだけ安くなるものなのですか。

環境政策課長 電気料金が下がるかどうかということは確約できない事業スキームでございます。

まず、事業者は太陽光発電設備を設置することに多大な経費がかかりまして、その費用を市が支払う電気料金によって20年間で回収する形となります。太陽光発電設備を市有地に設置することで、市は電力会社から電気を購入する際の経費である再エネ賦課金というものを軽減することができます。事業者

の経費、利益を加味して電気料金等を提案していただくこととなりますので、一般的には軽減される経費ととんとんになればいいと言われている事業スキームでございます。さらに昨今の燃料価格高騰といった事情も考えますと、電気料金下がるということはなかなか確約できない事業スキームだと考えています。

織田委員 しかしながら、20年間は安定的に電力を供給してもらえることになるのですよね。

環境政策課長 三、四年の間は間違いないのですけれども、事業者へ支払う電気料金の設定については、今後の導入に当たって慎重に見極めていきたいと思っています。

大島委員 PPAにより太陽光発電設備を設置し、本庁舎等の公共施設に送電するとのことですが、設置後の所有権や管理責任は、市と事業者のどちらにあるのか教えていただけますか。

環境政策課長 PPA事業では、設置された設備は20年間の契約期間満了後に事業者から市へ無償譲渡されることが一般的ですが、今後、仕様書を作成するに当たり、所有権や管理責任の条件についても併せて検討したいと考えております。そのことが市の未利用地を活用する上で適切であるのかについても検討していきたいと考えております。

大島委員 無償譲渡されるということですが、20年もたった古いものを受け取っても処分料だけで莫大な金額になります。仕様書作成の時点できちっと話を詰めていただいて、設備が損傷した場合の管理責任や契約期間の途中で事業が中止になった場合の違約金の内容について、市の負担とならないスキームとなるようしっかりと検討を進めてください。そうしておかないと、2億1,000万円もかけて、さらに何億円も必要になるという話になりかねないので、きちっと話を詰めていただきたいと思います。

吉田委員 今後のスケジュールとしては、令和6年6月に事業者の公募を開始し、10月に事業者決定（契約）となっています。
設置場所については楡原地区の北陸電気工業跡地となっていますが、地域の皆さんの合意といえますか、その辺の段取りはどうなっていますか。

環境政策課長 本事業につきましては、これまでも2年間にわたって市の遊休地の基礎調査を実施しておりました。本委員会でも御説明させていただきましたけれども、その調査結果から楡原地区が最有力候補として挙がってきたものでございます。
せんだって地域の皆さんには御説明申し上げまして、一応総論として異論はないということでもございましたけれども、今後も丁寧に御説明しながら協力をいただくといい形を取りまして、慎重に進めていきたいと思っております。

分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料6ページの国際展開支援事業（JICA関係）について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料7ページの婦負斎場の再整備について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料8ページの富山市こどもふれあい入浴事業補助金について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

藤田委員 この事業は親子がふれあうということをコンセプトに実施されるかと思うのですが、祖父母も入れていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

環境保全課長 この事業の目的は子育て世代を支援すること

でありまして、例えば、祖父母が銭湯に孫を連れてくることで、子育て世代を支援しているとも捉えることもできますが、そのあたりの細かい事業の内容は、これから富山県公衆浴場業生活衛生同業組合富山支部や各浴場がいろいろ考えて取り組んでいくと。市としてもその協議の場に入ると思っていますので、この事業の意図を伝えていきたいと思っております。

藤田委員 祖父母と一緒に銭湯に行くということではなくて、何か取組やイベントを実施する際に、祖父母にも参加してみようかなと思っていただけるような形になればいいと思っております。

分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料9ページのカラス対策事業費について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

藤田委員 最近、アオサギも多いと思っております。カラス対策に併せてでも結構ですので、アオサギ対策も検討してはどうかと考えますが、いかがでしょうか。

環境保全課長 アオサギ対策ということですが、アオサギに限らずサギ類についての対策であれば、例えばふん害への対策などになるかと思っております。
このカラス対策事業は、都心部にカラスがたくさん集まってきているため、それを何とかしたいというところから始まりまして、現在、捕獲を中心に取組を進めております。長い時間をかけて取り組んでいるところで、一定程度の効果は出てきていると思っております。
サギ類につきましては、環境部でお答えすべきものかどうかということもありますが、農作物などに対して影響を与えているということであれば、有害鳥獣対策の中で取り組むものと考えます。一般的にサギ類は夜にねぐらに戻り、そこで集団でふんをします。多分その場所でいろいろと問題が発生するとは思いますが、個別に対策することは現状では難しいと思っております。

もともとサギ類は春前にかけて営巢の準備をし、春から夏にかけて子育てをして、そこから巣立っていくと。サギ類が巣作りをする前に追い払えばいいのですけれども、場所への執着性が高い動物なので、巣作りを始めてしまったらなかなか追い払えないのです。そういった点ではカラスのように簡単ではないところがあります。全国的に見てもサギ類への対策に取り組んでいるという市町村はあまり聞きません。

また、捕獲するにしても鳥獣保護法では基本的に保護されるべき存在で、有害なものに対して捕獲などの対策が取れるという法律の立てつけとなっておりますので、アオサギなどのサギ類についての対策は難しいと思います。

ただ、サギ類の被害を受けている自治体もあるとテレビなどで報道されることもありますので、今後の状況を見ながら、どのような対策ができるのか調べいく形になるかと思います。

ただ、このカラス対策と一緒に実施することは難しいと思います。

藤田委員 今後の対策を検討する機会がありましたら、ぜひ環境部で検討していただきたいと思いますので、要望として申し上げます。

分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料10ページの資源物ステーション運営事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

藤田委員 (2) 事業目的に市内8か所という記載があるのですけれども、その場所と選定基準についてお伺いします。

環境センター管理課長 資源物ステーションについては、平成13年度から順次開設しておりまして、現在は8か所あります。場所につきましては、環境センターの車庫、旧岩瀬環境事務所駐車場、旧婦中環境事務所倉庫内、ファミリーパーク第2駐車場、山室地区センター駐車場、

旧八尾行政サービスセンター駐車場、大庄地区コミュニティセンター駐車場、水橋中部地区センター駐車場の8か所となっております。

市民の利便性を考慮して、各地域の方が持ち込みやすく、ある程度のスペースを確保できる場所を選定しております。

藤田委員 どのような基準で選定しているのか、市民にとって使いやすい場所なのかということが気になったのでお伺いしました。引き続きお願いいたします。

環境センター管理課長 すみません。先ほど申し上げた資源物ステーションの場所について、1か所訂正させていただきます。旧八尾行政サービスセンターに設置していたものにつきましては移設しまして、今年度からは八尾スポーツアリーナ駐輪場に設置しております。

分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料11ページのプラスチック資源一括回収事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

舎川委員 まず確認ですが、予算額1,601万6,000円のうち、2分の1が交付税措置される見込みだという御説明がありました。これはまだ見込みで、決定ではないということでしょうか。

環境センター管理課長 あくまでも見込みということになります。

舎川委員 分かりました。
この事業については、昨年度、婦中地域で実証事業が行われて、今年4月から市内全域でプラスチック資源一括回収をスタートするということでありました。実証事業で手応えがあって、本格的にスタートするものと思われませんが、この事業を始める意義について、私も含めて、まだよく理解していない方が多くいらっしゃるのではないかと考えております。市民の皆さんにもっと周知していくべきだと考えますが、御見解をお聞かせいただけますか。

環境センター管理課長

プラスチック資源一括回収につきましては、地球温暖化や海洋プラスチック問題が国際的な課題として取り上げられる中、国がプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律を施行し、全国で取組がスタートしたものであります。

これまで燃やせるごみとして出されていたプラスチック製品につきましては、プラスチック製容器包装とまとめて資源物として回収することで、リサイクルや燃やせるごみの減量化につながります。さらに、石油資源の使用量の削減や二酸化炭素の排出抑制といったゼロカーボンシティの推進にもつながりますので、大きな意義がある重要な取組であると思っております。

この意義を市民の皆様にも御理解いただくことはもちろんですけれども、分別のルールが変更となりますので、御協力いただくために、これまでも市ホームページや広報での周知はもちろんのこと、昨年11月の住民説明会の開催や、新聞への2回の広告掲載などを実施しました。今後の取組として、富山地方鉄道株式会社のバスの車内広告掲載や、案内チラシの配布、町内の集積場での案内看板の設置—これは今、町内に対して必要数をお聞きしております、今月中に配布する予定です—さらにTOYAMAキラリや市民プラザ、まいどはやバスなどのデジタルサイネージでも周知する予定です。

出前講座についても多数承っておりますので、様々な媒体等も活用し、周知・啓発を続けていきたいと思っております。

舎川委員

限られた資源の有効利用やリサイクルのために、市民の方々にはごみの分別に本当に多くの御協力をいただいております。

これまでごみだったものが資源として回収されますので、分別の必要性、資源循環などの意識・意義についても、市民にしっかりと啓発していただくことが必要だと考えます。廃棄物対策課も新設されると聞いておりますので、この事業については大いに期待しております。

- 織田委員 19年ぶりに分別回収のルールが変わるということで、ある意味大きなインパクトもあろうかと思いません。
- プラスチック資源についてはごみ集積場で集めるという御説明がありました。一般的にはごみステーションやごみ置場と言っていますし、富山市の補助金の要綱でもごみ集積場となっていると思います。
- 一方で昔から学校で取り組んでいる廃棄物収集は、今は資源物回収という名前になっていますし、議案説明資料10ページの案件でもごみステーションではなく資源物ステーションとなっています。こういったことを改めて発信していかなければならないと思います。
- ぜひいいネーミングを募集していただいて、皆さんの意識変容、行動変容につながるような形になればいいのではないかと考えますが、見解があればお伺いできますか。
- 環境部長 今ほどのお話は、とてもいいことだと思います。
- いろいろなものをただのごみとするのではなく、資源循環の社会をきちんとつくっていく必要があると思っていますので、そういったことの普及・啓発の取組として募集することも1つの方法ですし、また名称、呼称等について少しアイデアを練っていきたいと思っています。
- 藤田委員 いろいろな周知や住民説明会も実施されているかと思うのですが、周知するためには、ゼロカーボンシティの推進に対してこのプラスチック資源一括回収事業がどの程度寄与するのか、裏づけとなる数値を説明することもやっぱり大事だと思います。
- その点についてお聞かせ願います。
- 環境センター次長 環境省の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルで示されておりますCO₂の排出係数では、プラスチックを1トン焼却すると約3トンのCO₂が排出されるとあります。
- このプラスチック資源一括回収事業によって、焼却

量が140トン減少すると見込んでおりますことから、約420トンのCO₂の排出を抑制できるものと考えられます。

また、林野庁の資料によれば、杉1本当たり年間8.8キログラムのCO₂を吸収することができるとされておりまして、1ヘクタールに1,000本の杉が植樹されていると仮定した場合、1ヘクタール当たり年間で8.8トンのCO₂を削減することが見込まれます。

プラスチック資源一括回収事業で減少が見込まれる約420トンで考えると、約47ヘクタールの森林のCO₂吸収量に相当しますので、ディズニーランド1個分ぐらいの面積の森林を造った場合と同じような効果があると考えております。

藤田委員

今の説明はすばらしいと思いました。

市民の方たちが分別する手間が一体どのように自分たちに返ってくるのかが分かるということがすごく大事だと思いますので、ぜひそういったことも周知・啓発の中で説明していただきたいと思います。

分科会長

ほかにはないようですので、議案説明資料12ページの家庭ごみ有料化検討事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

舎川委員

この予算額621万9,000円のうち、イベント開催等に係る事業委託料が610万円ということがあります。

先ほど少し説明がありましたが、具体的にどのようなイベントを計画しているのか教えていただけますか。

環境センター管理課長

市民参加型の啓発イベントを実施する予定ですが、内容としましては、広く市民から参加者を募りましてワークショップを開催することや、名称はまだ確定しておりませんが、フォーラムやシンポジウムを開催しまして、そこで講師と市長の対談などを行い、

ごみの減量化はもちろんのこと、家庭ごみ有料化についても御理解いただく機会としたいと考えております。

舎川委員 そのイベントのスケジュールなどは決まっているのでしょうか。

環境センター管理課長 現時点では開催スケジュールは調整中ではありますが、このイベントの開催につきましては、夏から秋頃の時期で調整・検討を進めていきたいと考えております。

舎川委員 多くの方に参加していただいて、子どもから高齢者まで様々な世代から富山市のごみや資源物に対する意見をいただくことは非常に意義のあることだと考えます。

そして、このイベントを通して、そもそもなぜごみを減らすことが必要なのか、家庭ごみを有料化すると実際に幾らぐらい負担が増えるのかということをも市民全体で共有し、考える機会となることを期待しております。

先日の本会議での江西議員の一般質問に対する答弁にもあったように、クリーンセンターの焼却炉設備の全面的な更新計画はないとのことですが、運用開始から21年経過しているということも事実であります。将来市民が必ず負担することになる処理施設の大規模な整備費を含めて、我々のごみを処理する経費など、ごみ処理経費全体がどうなっていくのかというところに問題の所在があると思います。

これが明確になってくれば、家庭ごみ有料化やプラスチック資源一括回収による経費の削減が未来への投資になるということが説明できますし、それが今は足りていないのではないかと考えています。

富山市のごみ処理に相当な額の経費を要していると説明がありましたが、直近で令和4年度はどのぐらいかかっていたのか、また今後の見通しについても分かれば、教えていただけますか。

環境センター管理課長 本市の家庭ごみの処理に係る経費につきましては、収集運搬や中間処理、最終処分、焼却処理施設の建設に伴う償還金などを合わせて、平成17年度の新市発足以来、令和3年度までは、毎年平均で約38億円を負担してきております。償還金の負担がなくなった令和4年度につきましても、約26億円を負担しているところであります。

その中で収集運搬に係る経費が大きなウエートを占めておりまして、令和5年度と令和6年度の委託費を予算ベースで比較すると、約3%増えております。近年の人件費や燃料費の上昇などの要因も加味しているところではあります。こういった要因から今後も増加するものと考えております。

舎川委員 非常に大きな負担だと思えます。

令和3年3月に家庭ごみ有料化について検討すると話があったから、もう3年が経過しているのです。この間、新型コロナウイルス感染症やエネルギー価格の高騰などがあり、家庭ごみ有料化の導入には、当然、逆風になっていると思っております。

さきの本会議で市長は、具体案の検討にも取りかかりたいと、踏み込んで答弁されております。

これに加えて、先ほど市民参加型のイベントを開催して理解を図るとも説明がありました。

今後、環境部で家庭ごみ有料化について具体的に検討を始めると思いますが、その意気込みをお聞かせいただけますか。

環境部長 今ほど委員からも御紹介がありましたとおり、さきの本会議におきまして、市長から家庭ごみ有料化の具体案の検討に取りかかりたい、加えて丁寧に説明していくということを申し上げたところでございます。

家庭ごみ有料化について、これまでもいろいろと説明をしてきておりますけれども、私どもが日々排出するごみは減らそうと思ってもなかなか減らせない状況の中で、今ほど申し上げましたようなごみ処理経費もどんどん上がっていている現状がございま

す。こうした中で、私たち現在市民が将来市民に対して、ごみの減量化に一生懸命取り組んでいくのだという意気込みを残して将来につないでいかなければならないものであり、大変重要な施策だと思っております。

今後、具体案を練っていくのですけれども、私自身、そして部全体としても気を引き締めて取り組んでいかなければならないと思っております。

データ等につきましても、ある程度収集はできているのですけれども、御承知のとおり、環境センターにおきましては、さきの能登半島地震で倒壊したブロック塀の対応等に注力しておりまして、この1月から3月の間にもう少し詰めておきたいと思ったことが十分にはできていない状況でございます。まだ少し情報が足りていないのではないかと考えていますし、今後具体案を練っていく中でも、疑問を感じたら、ちゅうちょせず様々な調査をしていく必要があると思っております。

こういったことも含めて、新設する廃棄物対策課でしっかりと取り組んでいきたいと思っておりますし、市民の皆さんが理解しやすい説明の仕方、資料づくりを心がけて、鋭意取り組んでまいりたいと思っております。

舎川委員

部長の非常に熱い思いを感じました。

市民の不安に対して、しっかりと取り組んでいかなければならないと思います。

これまで出前講座などを通して踏み込んで取り組んでおられたようでありましてけれども、まだまだ市民へは伝わっていない状況だと思います。

令和3年3月に家庭ごみ有料化を検討する意向を示されたときから、会派としても応援していきたいという立場であります。

市長や環境部が将来市民のためにしっかりと前を向いていくことを決めたのであれば、我々もフォローしていきますので、令和6年度は具体案を示して、市民の理解を一層深めることに加えて、我々議会との議論を一步でも二歩でも前進できるようにお願い

します。

大島委員

せっかくきれいにまとまって燃え盛っているのに、少し水をかけさせていただきたいと思います。

まず、前年度、各地域で意見交換会を開催されていましたが、ごみ減量化の話が中心で、家庭ごみ有料化の説明はおまけのような形でした。家庭ごみ有料化の検討が前提であれば、もっとたくさんの方が集まってしっかり聞かれたのではないかと思います。各地の意見交換会では参加者が1桁のところもありましたし、八尾コミュニティセンターでは十何人しかいませんでした。ほとんど自治振興会の方だけという状態だったのではないのでしょうか。

議会の中でも、ごみ減量化を進めなければならないという考えはみんな同じだと思っているのですが、家庭ごみ有料化については、今、舎川委員が力説されたように前向きに考えている方もいらっしゃるわけですが、有効な手段なのかどうかと疑問を持っている方もいらっしゃるわけです。

富山地区広域圏事務組合を構成する富山市以外の市町村では、家庭ごみ有料化についてどうするのかという話も全く聞こえてこない状況であります。

富山地区広域圏事務組合で管理しているクリーンセンターの焼却炉については21年たっていますが、四百数十億円もの整備費用は起債しているのですから、家庭ごみを有料化したからといって、施設更新費用を賄えるわけありません。もう本当に微々たるものだと思います。一昨年、家庭ごみ有料化について山形市へ視察に行ったときに、指定ごみ袋を導入して4億円集めても、2億円以上がごみ袋の費用だとおっしゃっていました。

また、私の記憶では、令和5年度の家庭ごみ有料化推進事業の予算は3万円だったと思います。1回諦めたのかと思ったら、来年度は予算額600万円以上の事業として出てきたものですから、その方針もぶれているのではないかと感じます。家庭ごみ有料化を本格的に検討するのに、今年度、数万円の予算しかなかったのは、多分そのくらいの予算しかつか

なかったのではないかと思っています。
そういったことも含めて、来年度、これだけの予算をかけるのであれば、家庭ごみ有料化を前提に説明をしていかないと、市民の方は本当に何も分からないと思うのです。何かイベントのようなもので外堀を埋めて、流れをつくっていくということだけは絶対にやめてほしいという思いです。
水を差すようで申し訳ないのですが、議員全員が同じ方向を向いていないということも含めて、市民にしっかりと説明できるような予算執行をお願いいたします。

環境部長

今ほど委員から御指摘がありました。令和4年度の意見交換会にたくさんの人が集まらなかったことは、私どもの周知不足が要因であり、反省するべきところは多々あると思っております。
まず、昨年度の家庭ごみ有料化推進事業の予算が3万円だったことにつきましては、可能な限り自前で調査・研究しようという観点から、中核市への照会を行ったり、出張先や先進地の環境部などに伺い、家庭ごみ有料化導入までの経緯や苦労話を聞き、現物のごみ袋を提供していただいたりするなどの情報収集に取り組んできたところでございます。
令和6年度のイベント開催につきましては、やはり家庭ごみ有料化についてはきちんと伝えていきたいと思っております。本市が掲げるゼロカーボンシティも含めた環境問題への取組については、ごみが関わってきますので、家庭ごみ有料化の必要性や他都市の状況などをしっかりお伝えしていくことが必要だと思っております。
ただ、イベントの細かい内容についてはこれから検討していきますので、今いただきました御意見も踏まえて、できるだけ皆さんに分かりやすく、理解していただけるように努めていきます。

大島委員

富山地区広域圏事務組合を構成する他の市町村に対してはアプローチしていないのですか。

環境部長 現在のところ、そういったことはございません。

吉田委員 来年度予算は620万円余りで、あくまでも検討事業であり、家庭ごみ有料化ありきの事業ではないと。これから説明して市民の理解を得るということです。私たちの会派としてもこの検討事業に賛成するのか、反対するのかといろいろな議論をしていたのですが、検討すること自体はいいのではないかとこのところ落ち着いています。

先ほどから議論があるように、令和4年度の当初予算は令和5年度から家庭ごみ有料化を導入するのではないかとこの雰囲気があったけれども、令和5年度の当初予算は、先ほど大島委員もおっしゃったように、一休みだな、諦めたのかなという雰囲気を出して、令和6年度の当初予算でまたこれだけの金額が出てくることには相当の違和感があるのです。イベントを開催するとのことですが、もっと各地域に入って、説明して意見を聞いていかなければならないと感じます。

家庭ごみ有料化については、最大の目的はごみの減量化だということですが、家庭ごみ有料化が果たしてごみの減量化に結びつくのかどうかは、いろいろと議論があるところで、デメリットもあるのです。私の地元で家庭ごみ有料化について話をしているにもかかわらず、不法投棄が増えるのではないかと、他の地域へごみを持って行ってぽんと捨てるのではないかなど、家庭ごみ有料化を導入したときの市民のリアクションも含めて、やっぱり慎重に検討しなければいけないと思います。

先ほど大島委員もおっしゃっていましたが、財政効果は大したことがないと言われてますし、どのようにごみを減量化するのかという議論の中で、その手段の1つに家庭ごみ有料化を考えるのであれば、市民の理解を得るために丁寧に説明し、理解してもらう努力をしなければなりません。いろいろな啓発イベントを実施したから、さあ、家庭ごみ有料化だという乱暴な進め方はやめてほしいという意見があります。

- 環境部長 繰り返しになりますが、さきの本会議で市長も申し上げましたとおり、丁寧に説明していくことが大切だと私どもも思っておりますので、可能な限り努力したいと思えます。
- 藤田委員 何かもう家庭ごみ有料化を導入するのかどうかの議論になりつつある気もするのですけれども、今回はあくまでも検討事業であります。
先ほどのプラスチック資源一括回収事業でもお話ししましたように、家庭ごみ有料化を導入するのであれば、指定ごみ袋の内訳はどのような割合になっていて、それがどのように使われていくのか数値を示していくことで、市民にも分かりやすいものになるかと思えます。結果的に家庭ごみ有料化について丁寧な議論ができるのではないかと思いますので、そういったところに取り組んでみてはいかがでしょうか。
- 環境部長 おっしゃるとおりです。環境問題という大きな課題への取組の中で市民の皆様が一番なじみ深いものがごみの減量化だと思います。先ほどのディズニールンド1個分ぐらいの面積の森林を造ったものと同じような効果という環境センター次長の説明をお褒めいただいたわけですけれども、やはり市民の皆様に理解していただくときには、分かりやすく説明していくことが大事だと思っておりますので、心がけていきます。
- 藤田委員 そういった根本的なところが大事だと思いますので、引き続きお願いいたします。
- 分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料13ページの地域循環型生ごみ堆肥化モデル事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。
- 柏委員 先ほど、燃やせるごみの中で生ごみが35%ほどを占めていると説明がありましたが、今後ごみを減らすためにも、生ごみの削減が重要になってくるのか

など私も思います。

今回はモデル事業ということですが、生ごみ処理機については、例えばバイオ式や乾燥式などがあると思うのですが、大きさも含めて、どのようなものを想定されているのかお聞かせください。

環境センター管理課長

この事業で用いる生ごみ処理機につきましては、大きさとしては一般家庭で使うようなものではなく、業務用の大きなものになります。

生ごみ処理機に生ごみを入れ、そこに薬剤を投入しまして、堆肥化します。この堆肥については、最終的に液肥に変わっていきます。まず、実際にできてくる液肥が花壇などで植物に使っていいレベルであるのかどうか成分調査をしまして、実際に使えるものであれば、地区内の学校や公共施設などの花壇や植栽に使って、地域で循環するような形のモデル事業にしていきたいと考えております。

機器については1か所に設置して、そこに生ごみを持ち込んでいただくような形を考えております。

柏委員

大きなものということですが、例えば地区センターに設置するとしたら、どのような場所に設置する予定ですか。

環境センター管理課長

生ごみを持ち込んでいただくことになりますので、屋外を考えておりますけれども、それが建物の近くになるのかどうかということも含め、今後調整を図っていきます。

柏委員

生ごみを持ってきた方の対応についてですが、持ってきた方が自分で処理するのか、地区センターの職員に声をかけて一緒に処理するのか、どのような形を想定されていますか。

環境センター管理課長

こちらの運用方法につきましては、まず、どれだけの量の生ごみを持ってきたのか計量した上で投入していただくことを考えております。基本的にはそこに誰かが常駐するのではなく、持込み手順のような

ものを示しまして、御自身で計量していただいて投入してもらう形で実施することを想定しております。持込みができる時間としましては、地区センターに設置するというのであれば、その地区センターの受付時間内を想定しています。夜間は人の目がありませんし、不適切なものが投入されて機械の故障につながる可能性もありますので、利用できないように、例えば施錠管理などの対応をしていくことが望ましいと考えております。

柏委員 とても大事な取組だと思えます。衛生面については、これから多少課題も出てくると思えますので、いろいろと工夫をしていただいて、取組を進めていってください。

藤田委員 もしも聞き逃していたら申し訳ありません。モデル地区となる場所はもう大体決められているのか、これから選定するのか、お答えいただけることがあれば教えてください。

環境センター管理課長 地区につきましては、まだ決定しておりません。ただ、今ほどの生ごみ処理機の管理の話や事業の報告等もありますので、モデル地区となる地区には大変御苦労をおかけする話でもあります。この事業の趣旨に御理解、御賛同いただける自治振興会等を募集するか、もしくは検討していただくようこちらからお声がけをすることを想定しております。

分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料14ページのダンボールコンポスト普及啓発事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

藤田委員 単刀直入にお伺いします。この事業の協力者はどれくらいの数を想定されていますか。

環境センター管理課長 協力者につきましては、60名程度に参加いただきたいと考えています。

- 藤田委員 60名が参加して取り組んでいただければ、いい結果も悪い結果もいろいろデータとして取れると思いますので、引き続きこの取組を進めていってください。
- 分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料15ページのこども環境教育アドバイジング事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。
- 藤田委員 この事業の予算額が3万円となっているのですが、この金額で企業広告を募集できてしまうのか、簡単に教えていただけますか。
- 環境センター管理課長 諸経費ということで、事務用の消耗品費3万円だけを計上しております。実際に広告を出す費用については事業者の方が負担することになります。市の作業は事務的な処理のみとなりますので、このような少ない予算額となっております。
- 藤田委員 実にいいスキームだと思うので、この事業だけではなく、もっとほかにも活用できると思います。これだけ安い経費でできるのであれば、もっとほかの事業にも活用していただきたいと要望としておきます。
- 分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料16ページの環境教育推進事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。
- 〔発言する者なし〕
- 分科会長 議案説明資料17ページの地域環境美化推進事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。
- 〔発言する者なし〕
- 分科会長 議案説明資料18ページの塵芥収集車の購入に係る債務負担行為の設定について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料19ページのつばき園維持管理事業（設備改修）について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

大島委員 設備を焼却方式から希釈放流方式へ変更するということですが、環境負荷についてはどのような影響があるのか教えていただけますか。

環境センター管理課長 現在は浄化槽汚泥処理の中で、灯油を使用した焼却処理工程がございます。希釈放流方式に変更することで、この焼却処理工程が全くなりまして、灯油の使用もなくなります。令和4年度実績で言いますと灯油を4万リットル使用しておりますが、来年度予算では4万2,000リットルを見込んでおりますが、これを全く使わなくなれば、CO₂に換算いたしますと、104.5トンの二酸化炭素を削減することができます。環境負荷という部分では、灯油を使わなくなるということになるかと思えます。

大島委員 希釈放流方式の環境負荷がどうなのかということをお聞きしたかったですけれども……。

環境センター管理課長 希釈放流方式では、水の使用量は増えることになりまして。水資源の使用量は大きくなります。

環境センター所長 補足させていただきます。そもそもこの希釈放流方式への変更は、焼却をやめることで、施設への負荷を低減できる、設備の経費を安く上げられるということから決定しました。希釈して下水道に直接投入しますので、多量の工業用水を使いますが、その行き先は浜黒崎浄化センターでございます。環境的にも何ら問題はないと考えております。

分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料以外で、当

- 商工労働部次長 〔商工労働部所管分の概要について、
議案説明資料により説明〕
- 商工労政課長 〔議案第1号中
呉羽ハイツの貸付金について、
商工業振興資金等貸付事業について、
緊急経営基盤安定資金貸付事業について、
議案説明資料により説明〕
- 企業立地課長 〔議案第1号中
WRO開催支援事業について、
企業立地奨励事業について、
議案説明資料により説明〕
- コンベンション・
薬業物産課長 〔議案第1号中
くすり関連施設整備事業について、
「くすりの富山」未来への架け橋事業について、
コンベンション等誘致推進事業について、
議案説明資料により説明〕
- 観光政策課長 〔議案第1号中
北陸DC開催に伴う北陸3都市連携強化事業について、
「すしのまちとやま」ブランド化事業について、
すしトラム運行事業について、
電動キックボードレンタル事業について、
山田地域観光施設利活用事業について、
全日本チンドンコンクール開催事業について、
おわら風の盆有料観覧席設置試行事業について、
立山山麓グリーンシーズン活性化推進事業について
(マウンテンカート補助金)、
議案説明資料により説明〕
- 公営競技事務所長 〔議案第12号について、
議案説明資料により説明〕
- 分科会長 暫時休憩いたします。

午後 0時07分 休憩

~~~~~

午後 1時06分 再開

分科会長 休憩前に引き続き、予算決算委員会経済環境分科会を開きます。  
これより、質疑に入ります。  
議案説明資料に沿って質疑を行っていきたいと思います。  
議案説明資料3ページの呉羽ハイツの貸付金について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

藤田委員 貸付金の返済計画はどうなっているのか、お伺いします。

商工労政課長 呉羽ハイツにつきましては、コロナ禍前までは事業活動収支は黒字となっておりました。また、建物は平成30年度に耐震工事、令和元年度に擁壁修繕工事を行って、長寿命化を図っています。  
コロナ禍前の収支状況に戻りましたら、長期的には返済可能だと見込んでおります。

藤田委員 ぜひ黒字化されて、計画的に無事返済されることを願っております。

分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料4ページの商工業振興資金等貸付事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料5ページの緊急経営基盤安定資金貸付事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料6ページのWRO開催支援事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

- 藤田委員 唐突感を感じる事業でして、まず、この事業を企業立地課が担当されていることにちょっと驚いたのですが、その点を御説明いただけますか。
- 企業立地課長 昨年度に開催の依頼があったのですが、大会の目的が小・中高生のプログラミング技術の向上やものづくりへの関心を高めることでしたので、富山市の将来の産業発展に寄与すると考えまして、当時の工業振興の担当である工業政策課で受けたものです。令和5年4月の行政組織の一部改正により工業政策課が企業立地課に変わりましたので、事業を引き継ぎ、企業立地課が担当することとなりました。
- 藤田委員 背景から理解できました。  
ほかにもいろいろと大会があると思うのですが、今後も協力を依頼されたら、同様の規模感でお受けになれるのか、お伺いします。
- 企業立地課長 大会の目的や内容も様々ですので、市の政策にとって有益なものや効果的なものであると判断できれば、支援することを考えたいと思います。  
支援の規模につきましては、その都度、状況に合わせて検討してまいります。
- 藤田委員 そういった取組を推し進めることはいいことだと思いますので、引き続き支援をお願いします。
- 分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料7ページの企業立地奨励事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。
- 大島委員 今回の能登半島地震を受けて、この予算への影響はどのようなものがあるのか、教えていただけますか。
- 企業立地課長 この企業立地奨励事業につきましては、例えば企業が用地、建物、設備などへ投資する際に助成しております。

事前に指定申請をいただいたものを予算化していますので、今回の能登半島地震について、この事業の中で予算化しているものはない状況でございます。

分科会長           ほかにないようですので、議案説明資料8ページのくすり関連施設整備事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

舎川委員           この計画についてはいろいろと検討した結果、方向転換されたものであり、新聞等の報道ではちょっとネガティブな受け止め方をされていることは拭い切れないというか、今はそういう風が吹いていると思います。

一方で、富山の薬についての事業に取り組み、具現化していくことは、将来市民にとっても非常に有効なことだと思えます。

本会議でも答弁をいただいておりますけれども、改めてこのくすり関連施設整備事業についての意気込みや今後どのように進めていくのか、その強い思いをお聞かせいただきたいと思えます。

商工労働部長      本市にとって、このくすり関連施設は必要だと私は思っています。

ただ一方で、令和6年2月15日の経済環境委員会や本会議でもいろいろな意見、懸念事項をお聞かせいただきました。こういったことは大切なことだと思っておりますので、1つずつクリアしながら、前向きに進めていきたいと思っております。

舎川委員           やっぱり都市には歴史がありますので、それに基づいたまちづくりは非常に重要だと思っております。ガラス、パッケージもそうですが、富山市の産業は薬から派生したものが多く、さらにそこから教育や人材育成といったことにもつなげていけるような施設になることを期待しております。引き続き前向きに進めていただきたいと思えます。

分科会長           ほかにないようですので、議案説明資料9ページの

「くすりの富山」未来への架け橋事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料10ページのコンベンション等誘致推進事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料11ページの北陸DC開催に伴う北陸3都市連携強化事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料12ページの「すしのまちとやま」ブランド化事業について、すしトラム運行事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

豊岡委員 「すしのまちとやま」ブランド化事業に関してですが、富山湾には季節に応じた様々な旬な魚がいると思います。そういったことから週1回程度のペースで旬な魚やすしネタなどの情報を発信されるということで、効果を期待したいと思います。

(3) 事業内容のイ、分析調査で、事業の効果を計測するため、ホームページの閲覧状況を把握すると記載されていますが、当然情報の出し方や見せ方でどのような効果があったのかという因果関係を確認されると思いますけれども、我々はその結果や内容などを知ることはできるのでしょうか。

観光政策課長 閲覧数、サイト内の移動経緯、また検索ワードなども調べることができます。そういったことをしっかりと公表していくことも必要だと思っておりますので、なるべくそのようにしたいと考えております。

- 豊岡委員 検索サイトによってはサイト訪問者の地域、性別、年代などといったことも分かると思いますので、ぜひそういったことも分析していただきたいと思います。
- SNSを活用した参加型のキャンペーンもあるということですので、実施の頻度を週1回ペースにしたらどれぐらいの効果があるのかなど、また教えていただきたいと思います。
- 藤田委員 (3) 事業内容のア、ホームページやSNSによるプロモーションについて、具体的な金額が出ているのですが、積算根拠を教えてくださいませんか。
- 観光政策課長 594万円の内訳でございますけれども、まずは企画やクリエイティブディレクションなどといったもののや、X、インスタグラムの週1回ペースでの投稿に係る費用が約100万円、そして、ウェブページ、ライター、写真などを月2回ペースで更新することを考えておりますが、それで約300万円、そのほかはウェブページのデザインの費用で、それらを合わせて594万円となっております。
- 藤田委員 イに分析調査として別に予算が計上されているのですけれども、アのプロモーションとイの分析調査は別の業者になるのでしょうか。
- 観光政策課長 これは、全て富山市観光協会に委託する事業でございますけれども、当然プロモーションと分析調査を同じ業者が実施すると正確な検証ができないと思っております。分析調査に関しましては、有償のGoogleアナリティクスなどといったものを用いて、中立的な立場からしっかりと分析してもらうことが必要だと考えております。
- 藤田委員 それであれば大丈夫だと思います。ぜひその結果を我々も知ることができればいいと思いますし、これが分かれば十分な費用対効果があると感じます。前向きに取り組んでいってください。

分科会長           ほかにないようですので、議案説明資料13ページの電動キックボードレンタル事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長           議案説明資料14ページ、15ページの山田地域観光施設利活用事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

藤田委員           議案説明資料15ページの山田地域観光施設位置図では牛岳山頂辺りのブナ林などが入っていないのですけれども、そこも入れたらいいのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

観光政策課長       まずはそれぞれの施設の課題を整理した上で、地域を全体的に俯瞰して、エリアマネジメントの観点から検討を進めることが重要であると考えておりまして、そのための基本構想でございます。  
今後、サウンディング調査の中で事業者から有効活用できそうな素材なども伺って、適宜アクティビティなどの付随事業の中で検討する可能性はあるものと考えております。

藤田委員           ぜひ事業を前向きに進めていただきたいと思います。この委託料の金額の積算根拠について教えていただけますか。

観光政策課長       再整備の実施方針作成、サウンディング調査、市民のワークショップの実施、公募手続の検討や支援、検討報告書の作成などを予定しておりまして、コンサルタント2人に調査員として10か月程度専任していただくための人件費、諸経費などから委託料を積算しております。

分科会長           ほかにないようですので、議案説明資料16ページの全日本チンドンコンクール開催事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

藤田委員 名称に「全日本」がついているので、集客面で全国からいっぱい人が来てくれたらいいなと思うのですけれども、県外へのPRなどの状況が分かれば教えてくださいいただけますか。

観光政策課長 昨年12月に東京で在京マスコミ向けの情報提供会などを行っております。これは毎年実施しているものです。  
また、フェイスブックとインスタグラムでは随時情報を発信しています。フェイスブックのフォロワーは1,213人いるのですけれども、そういったところで発信することで全国の方々にも届くものと考えております。

藤田委員 全国に名をとどろかせられるよう、PRして行ってください。

分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料17ページのおわら風の盆有料観覧席設置試行事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料18ページの立山山麓グリーンシーズン活性化推進事業について（マウンテンカート補助金）、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料19ページの富山競輪事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 それでは、議案説明資料以外で、当初予算に関連して質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長            ないようですので、これをもって議案の質疑を終結  
いたします。  
これより、議案第1号中商工労働部所管分、議案第  
9号から議案第12号まで、以上5件を一括して意  
見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長            意見の表明なしと認めます。  
以上で、経済環境分科会商工労働部所管分を終了い  
たします。

午後 1時21分 休憩

~~~~~

午後 1時38分 再開

分科会長 これより、経済環境分科会農業委員会事務局所管分
の議案の審査を行います。
議案第1号 令和6年度富山市一般会計予算、第1
条歳入歳出予算、歳出第6款農林水産業費中、農業
委員会事務局所管分
を議題といたします。
これより、当局の説明を求めます。

農業委員会事務局長 〔挨拶〕

農業委員会事務局次長 〔議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

大島委員 作成された目標地図について、閲覧できる範囲を教
えていただけますか。

農業委員会事務局次長 目標地図の閲覧でございますが、氏名を地域計画並
びに目標地図に掲載しまして公表することになりま
す。

したがいまして、地域計画及び目標地図では、氏名までは閲覧できるということになります。

大島委員 誰でも閲覧できるのでしょうか。

農業委員会事務局次長 地域計画の策定に当たりましては、市で公告を行わなければなりません。地域計画と目標地図を併せて公告する必要がありますので、どなたでも見ることができるものでございます。

織田委員 以前、この意向調査の回答率について、目標値は特にないという話を伺いましたが、結果的に回答率はどうなったのか教えてください。

農業委員会事務局次長 昨年7月下旬から8月中旬にかけて実施しました、農地利用についての意向調査でございますが、農地所有者1万4,578人に調査書を送付しました。回答率は調査書の送達不能分498人を除いた対象者数1万4,080人に対しまして、回答者数が6,279人で、44.6%となっております。中でも市外や県外に居住する方の回答率が62%と高くなっておりまして、やはり遠方に住んでいると耕作ができないことから、回答率が高くなっているものと考えております。

織田委員 なかなか難しい実態があるのですね。ただ、規模の大きい耕作地については、しっかりと回答がないと、この後の目標地図の素案づくりにも影響があるのではないかと考えますが、そのあたりは大丈夫なのでしょうか。

農業委員会事務局次長 委員がおっしゃるとおり、大規模な農地を所有しておられる方から回答がない場合につきましては、意向調査の結果を受けまして、昨年12月から本年2月にかけて地域での話合いの場を設定しております。その場におきまして、生産組合への貸付けなどの希望がある農地の地図をお渡しいたしまして、耕作者がいるのかいないのかを調査していただいていると

ころであります。
その中で、もし地域の中で回答していない方がいら
っしゃった場合には、併せて意向を確認していただ
くようお願いしているところでございます。

織田委員 実効性のある調査になるよう、取り組んでいって
ください。

舎川委員 以前、少し話が出ていたかもしれませんが、
所有者不明の農地や相続の状況が分からない農地に
ついて、このような意向調査を実施する中で見えて
くると思います。
この38地域において調査を進めていると思うので
すが、所有者不明の農地や相続の状況が分からない
農地について、何かお考えがあればお聞かせくだ
さい。

農業委員会事務局次長 調査書が送達不能となったものについては、そこ
には居住していないということになります。そうす
ると、やはり意向調査をしたくてもできないという
こともあります。
所有者がなかなか把握できない農地として、農業
委員会でも対応を考えているところでございま
す。
仮に所有者不明農地で耕作を希望される方がいら
っしゃいましたら、農地法ないし農地バンク法に基
づく所有者の探索をいたしまして、公告を経まして
、利用権設定の手続きを取っていきたいと考えて
いるところであります。

分科会長 ほかにないようですので、これをもって議案の質
疑を終結いたします。
これより、議案第1号中農業委員会事務局所管分の
意見の表明を行います。
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。

以上で、経済環境分科会農業委員会事務局所管分を終了いたします。

午後 1時48分 休憩

~~~~~

午後 1時50分 再開

分科会長 これより、経済環境分科会農林水産部所管分の議案の審査を行います。  
議案第1号 令和6年度富山市一般会計予算、第1条歳入歳出予算、歳出第6款農林水産業費中、農林水産部所管分、第11款災害復旧費中、農林水産部所管分、第3条債務負担行為中、農林水産部所管分、議案第13号 令和6年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計予算、  
議案第20号 令和6年度富山市農業集落排水事業会計予算、  
以上3件を一括議題といたします。  
これより、順次、当局の説明を求めます。

農林水産部長 〔挨拶〕

農林水産部理事 〔農林水産部所管分の概要について、議案書及び議案説明資料により説明〕

農政企画課長 〔議案第1号中  
地域計画策定に係る農地基礎データ電子化業務委託について、  
議案説明資料により説明〕

農業水産課長 〔議案第1号中  
有機農業取組拡大推進事業について、  
田んぼdeヒマワリ事業について、  
議案説明資料により説明〕

森林政策課長 〔議案第1号中  
クマ対策について、  
議案説明資料により説明〕

- 農村整備課長 〔議案第1号中  
農地農業用施設災害復旧事業について、  
議案説明資料により説明〕
- 国営農地再編  
整備推進室長 〔議案第1号中  
スマート農業等基盤整備推進事業について、  
未来の農業担い手育成プロジェクト事業について、  
議案説明資料により説明〕
- 農林事務所  
農業振興課長 〔議案第1号中  
都市農山漁村交流促進対策事業費について、  
議案説明資料により説明〕
- 地方卸売市場次長 〔議案第13号について、  
議案説明資料により説明〕
- 農村整備課長 〔議案第20号について、  
議案説明資料により説明〕
- 分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑は議案説明資料に沿って行います。  
議案説明資料2ページの地域計画策定に係る農地基礎データ電子化業務委託について、質疑のある方はいらっしゃいますか。
- 〔発言する者なし〕
- 分科会長 議案説明資料3ページの有機農業取組拡大推進事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。
- 舎川委員 市長がオーガニックビレッジ宣言をされるとお聞きしておりますが、それでよろしいですか。
- 農業水産課長 オーガニックビレッジ宣言につきましては、今、国、県と協議をしております、本年3月下旬を予定しております。
- 舎川委員 本年3月下旬に富山市としてオーガニックビレッジ

宣言をするということですね。

農林水産省としても、2025年までに100か所、2030年までに200か所の創出を目標にしているということで、有機農業を拡大していこうと取組を進めておられます。

富山市としても、これまでエゴマを中心にいろいろと取り組んでおられましたけれども、富山市の有機農業の計画を策定していこうという中で、やはり引き続きエゴマの生産量を増やしていこうと考えておられるのか、その点についてお聞かせください。

農業水産課長 本市で一番多く有機栽培されておりますのは水稲です。現在、エゴマの有機栽培はしていないのですが、今後取り組んでいきたいと考えています。有機農業については、水稲とエゴマを中心に考えております。

舎川委員 (3) 事業内容のイ、有機JAS認証取得支援事業補助金で20万円の予算を計上しておられますけれども、有機JAS認証はすごくレベルが高いものがあります。提案ですけれども、これから新規で農業を始めたい方、有機農業に参入したい方、富山市の自然の中で有機農業を始めたい市外の方も一定程度いらっしゃると思いますので、例えば富山市版の有機農業認証—ここまで環境への負荷を低減すれば有機農業として認めますといった仕組みを検討することはできないかと考えていますが、御見解をお聞かせください。

農業水産課長 確かに有機JAS認証については非常にハードルが高いものになっておりますので、今後この有機農業実施計画を策定していく中で、若干ハードルを下げた有機農業認証についても検討していきたいと考えております。

分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料4ページの田んぼdeヒマワリ事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

舎川委員 富山市の花はチューリップだとおっしゃる方がいますので、ここでヒマワリを改めて宣伝していくことは非常にいい取組だと思います。  
今回、緑肥用ヒマワリ等作付支援事業補助金として、460万円の予算を計上しておられます。  
ここで質問ですが、フォトスポット設置業務委託は、補助金の交付を受けた方の中からフォトスポットを設置する場所を選んでいくのでしょうか。

農業水産課長 フォトスポット設置業務委託につきましては、補助金の交付申請をしていただいた中からヒマワリの生育状況がいい場所を選びまして、作付されている方ともお話をした上で、1か所だけですけれども、フォトスポットを設置したいと考えております。

舎川委員 1か所を市で選ぶとのことですが、募集やコンテストなど、市民を巻き込んで進めていけば盛り上がるのではないかと思います。そういったことも考えていただきたいという提案なのですが、いかがでしょうか。

農業水産課長 委員の御提案について、今後内部で検討させていただきます。

分科会長 ほかにないようですので、議案説明資料5ページのクマ対策について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料6ページの農地農業用施設災害復旧事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料7ページのスマート農業等基盤整備推進事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料８ページの未来の農業担い手育成プロジェクト事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料９ページの都市農山漁村交流促進対策事業費について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長 議案説明資料１０ページから１２ページの公設地方卸売市場再整備事業について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

大島委員 いつも質疑をさせていただいておりますが、経済環境委員会で質疑をするのは最後になるかもしれませんので、させていただきます。  
議案説明資料１１ページのイ、建設資材価格の高騰に伴う賃借料の増額について伺います。一般財団法人建設物価調査会が公表する建築費指数などを用いて、令和３年１月の事業提案時と工事着工時の変動率を根拠に予算を積算したということですが、もう少し詳しく一特に水産棟建設費の材料費の変動率がプラス４８％となっている点について、お尋ねいたします。

地方卸売市場次長 建設資材ごとに資材価格指数がありまして、議案説明資料には平均を算出し記載しております。実際には建設資材ごとに算出しておりまして、例えば鉄骨は５６％増、金属建具は５６％増、合板は４０％増、電気設備などは４３％増といったように、それぞれの建設資材ごとに指数がありまして、それらを積み上げた金額となっております。

大島委員 工場や事務所といった建物の用途、それから大阪、東京、名古屋といった場所などによって変動率が変わると思うのですが、これは何を基準にして算出したものなのでしょうか。整備事業者が算出したものを確認して積み上げた金額ということでしょうか。

地方卸売市場次長 実際の工事費の中で鉄骨がどのくらいの金額であるのか、どこで調達するのかなどといった整備事業者からの報告に基づいております。内容につきましては、モニタリング業務として建設技術研究所に工事の進捗管理、検証等をお願いしております。そこで整備事業者からの報告の適正性などを見てもらった上で適用しているものです。

大島委員 インターネットである程度概略が出ていまして、2015年を基準として、2021年は110、111ぐらいの指数で、3年後の2024年3月では140弱となっています。ウクライナ情勢の影響などで建設資材が高騰していると思うのですが、しっかりと精査をした結果、仕方がないとなったのか、基本協定に基づいて整備事業者からの報告をそのまま了承したのかで随分話が違ってくると思います。民間だとちょっと考えられないことです。この基本協定については、例えば金額が当初の予定から3割上がったらもう1回やり直すといったような約束はなかったのでしょうか。上がった分は青天井で了承するような内容になっているのでしょうか。基本協定について確認させてください。

地方卸売市場次長 議案説明資料にも記載しておりますが、物価高騰等への対応については基本協定に基づいて対応することとしておりまして、特に上限を設けているわけではありません。実際の物価高騰の影響額につきましては、事業者から9億4,000万円ぐらいだと聞いております。建設資材等の価格高騰への富山市としての対応は、全体スライドを適用することとなっておりますので、議案説明資料にも記載してありますが、物価変動額

の1.5%までの部分は事業者負担としております。市で算出した金額で何とか調整していただいている状況でありまして、整備事業者から提示された影響額までは届いていない実情がございます。

大島委員 物価変動額の事業者負担分が1.5%というのは、1年ごとで計算されるのですか。それとも、影響があった期間の増額分のトータルの1.5%なのですか。

地方卸売市場次長 その期間の増額分のトータルの1.5%を超える分を市が対応するということです。

大島委員 解体費用が21%—2億2,100万円余り上がっていきまして、それを含めて約7億2,200万円余りとなっていますけれども、この賃借料の増額は、これから毎年幾らぐらいになるのでしょうか。毎年これだけかかるのですか。

地方卸売市場次長 令和6年度の単年度の措置でございますので、令和7年度以降については、議案説明資料10ページに記載してあります建物としての通常の賃借料のみです。

大島委員 先ほど、モニタリング業務をお願いしている業者に整備事業者からの報告の適正性などを見てもらったとおっしゃいましたが、そのことについて、どのように精査したのかなど、もう少し詳しく教えていただけますか。

地方卸売市場次長 整備事業者からは、早い段階で物価高騰が進んでいるという申出がありました。工事着工時の指数によって実際の変動率が確定するまでの間、建設技術研究所などで物価変動額の根拠や整備事業者から出された資料の精査等を行って、その上で今回の増額分について算出しております。

大島委員 しつこいようですが、市としてももう一度精査して、

間違いはないということで金額を確定したのですか。

地方卸売市場次長 市でも技術職員やその他の職員の複数人で精査し、算出しております。

吉田委員 昨日の補正予算等分の分科会で、令和6年度からの5年間、施設使用料を年間約5,400万円減免するという話がありました。  
この令和6年度当初予算では、財産収入4,342万5,000円とのことですが、これは減免した後の金額なのですか。当初予算分の議案説明資料では減免の話が一切出てこないの、そのあたりについて教えてください。

地方卸売市場次長 議案説明資料10ページに記載しております財源内訳は、特別会計全体ではなく、そのうちの公設地方卸売市場再整備事業の部分を記載しているものでございます。  
特別会計全体の使用料については1億7,400万円余り、財産収入については4,300万円余りなのですけれども、委員がおっしゃっている施設使用料の減免は、この財産収入ではありません。  
財産収入については、整備事業者に土地をお貸ししている分の地代でありまして、減免とは関係のない部分でございます。令和6年度の特別会計全体の使用料の1億7,400万円余りについては、委員がおっしゃる5,400万円の減免を見込んで計上しています。

吉田委員 この議案説明資料には反映していないということですか。

地方卸売市場次長 反映していないといえますか、あくまでこの事業の財源内訳として1億円を記載しておりまして、予算に関する説明書には特別会計全体の予算を記載しております。そちらには5,400万円を減免した後の金額で、使用料1億7,400万円の収入を見込んだものを記載しております。

分科会長           ほかにないようですので、議案説明資料13ページから17ページの農業集落排水事業会計について、質疑のある方はいらっしゃいますか。

舎川委員           農業集落排水事業会計を公営企業会計にするということですが、議案説明資料15ページの令和6年度当初予算（案）総括表について、少しお聞かせいただきたいことがあります。  
事業費用のうち、営業外費用の支払利息及び企業債取扱諸費はどのようなものでしょうか。

農村整備課  
企業会計推進班長   こちらにつきましては、過去にお借りしました企業債などになっております。

舎川委員           多くは支払利息を計上しているということですか。

農村整備課  
企業会計推進班長   償還元金は資本的支出の企業債償還金の負担金などがございしますが、まだお借りしている部分の利息をこの営業外費用の支払利息及び企業債取扱諸費に計上しています。

分科会長           ほかにないようですので、議案説明資料以外で、当初予算に関連して質疑のある方はいらっしゃいますか。

〔発言する者なし〕

分科会長           ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第1号中農林水産部所管分、議案第13号、議案第20号、以上3件を一括して意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

吉田委員           議案第13号 令和6年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計予算について反対いたします。  
昨日、3月12日の本会議で審議しました議案第80号 令和5年度富山市公設地方卸売市場事業特別

会計補正予算（第3号）と同じく、施設使用料の減免について賛成できません。

豊岡委員 施設使用料の減免については、昨日の補正予算等分の分科会での審査時にも御説明いただいております、本市の台所としての市場の機能を維持していく上でも必要なことだと思いますので、この予算に賛成いたします。

分科会長 ほかに意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 これをもって、意見の表明を終結いたします。  
以上で、経済環境分科会農林水産部所管分を終了いたします。  
これで、3月定例会の当分科会に送付されました全議案の審査は終了いたしました。  
委員各位に御相談申し上げます。  
分科会長報告については、正・副分科会長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 それでは、そのように取り計らいます。  
これをもって、令和6年3月定例会の予算決算委員会経済環境分科会を閉会いたします。

令和6年3月定例会  
予算決算委員会経済環境分科会記録署名

分科会長 久保大憲

署名委員 吉田修

署名委員 舎川智也